

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	金融論		
担当者(Instructors)	岩本 光一郎	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本講義では「金融」という現象の基本的な仕組みを理解することを目指す。そのために、日常生活において我々が使う現金や預金が経済の中で果たしている役割や金融システムという概念など、金融論とその派生科目を学んでゆく上で必要となる基礎知識について解説する。併せて金融システムを深く理解するため「金融市場の現実」をテーマに、諸国の金融市場について解説する。また、余裕があれば金融実務についての解説も行う予定である。なお、質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義はパワーポイント資料の解説を中心とし、必要に応じて黒板も使用する形式で進行する。ほぼ毎回、課す事後課題を期日までに提出することが受講生には求められる。 ※月に一回程度、リモート講義を行う予定

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	講義の進め方と、本講義で学ぶ内容について解説する。	<input type="checkbox"/>
第2回	イントロダクション 1: 貨幣論	貨幣という概念について解説する。	<input type="checkbox"/>
第3回	イントロダクション 2: 金融システム	金融システムの定義について解説する。	<input type="checkbox"/>
第4回	資産選択	金融資産の特性について解説する。併せて簡単なポートフォリオ選択の理論についても学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	金融市場 1: 日本の金融市場	現実の金融市場を念頭に、日本の金融市場で実際に行われている金融取引について解説する。	<input type="checkbox"/>
第6回	金融市場 2: 金利、資産価格	各種市場における金利や資産価格の動向について解説する。	<input type="checkbox"/>
第7回	中間まとめ	ここまでの学習内容の確認	<input type="checkbox"/>
第8回	金融機関 1: 預金金融機関	預金金融機関、特に銀行行動について解説する。	<input type="checkbox"/>
第9回	金融機関 2: 非預金金融機関	非預金金融機関について解説する。	<input type="checkbox"/>
第10回	金融制度 1: 現在の日本の金融制度	我が国の金融制度の現状について解説する。	<input type="checkbox"/>
第11回	金融制度 2: 金融制度史	我が国の金融制度の歴史について解説する。	<input type="checkbox"/>
第12回	金融制度 3: 海外の金融制度	米国他の金融制度について解説する。	<input type="checkbox"/>
第13回	金融政策	中央銀行の役割やインフレ・ターゲット、テイラー・ルールについて解説する。	<input type="checkbox"/>
第14回	地域金融	地方自治体の資金ファイナンスについて解説する。	<input type="checkbox"/>
第15回	総括	ここまでの学習内容の確認	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習としては、参考図書に関連部分に目を通しておくこと、自分の周りの金融機関の動きについて観察したり、金融関連ニュースに耳を傾けることを推奨する(2時間程度)。事後学習としては、講義中に作成したメモ等の内容を点検して、必要に応じて整理・修正し、さらに自分で調べた情報を追加し、自分で講義ノートを再構築・拡張することを推奨する(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題・小テストを課した次の回の講義で、その内容や回答例について解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	現実の金融事象の解釈や金融制度の現状について、歴史的背景と最新情報を踏まえた上で自分の意見を発信できる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
60%			10%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
<p>・その他の中身は、事後課題（問題やレポート）となっている。・上記は可否に関する評価基準である（グレードについては基本的に筆記試験の結果を反映する）。</p>				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	使用しない（講義中に使用したPPTシートはpdf形式で配布する）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『金融入門＜第三版＞』日経文庫	
2	植田和男『大学4年間の金融学が10時間でざっと学べる』KADOKAWA	
3		
4		
5		